

**教材・資料編**

1 ワークシート

ワークシート1

**「共生社会」を目指して**

◇ 今の日本は「共生社会」と言えるだろうか？それとも言えないだろうか？  
これに関して、今までの学習を踏まえてあなたの意見を書きなさい。

◇ 「共生社会」を実現するための今の日本の課題は何だろうか？

◎HOW - TO KJ法

①KJ法をやるために……ブレインストーミング (BS) をする。

～テーマから思い浮かんだことをとにかく用紙に書く～

※気をつける点

「批判をするな」：他人の意見を批判してはいけない。批判があると良いアイデアが出にくくなる。

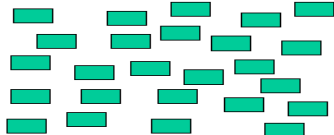
「自由奔放」：こんなことを言ったら笑われはしないかなどと考えず、思いついた考えをどんどん言う。

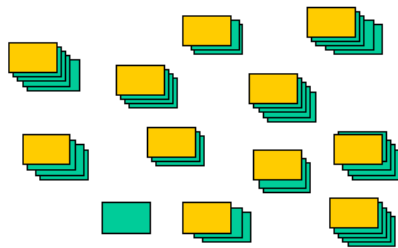
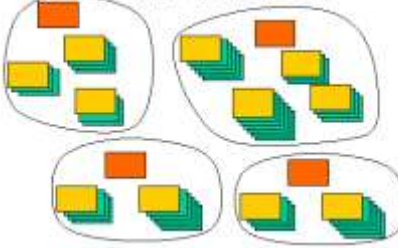
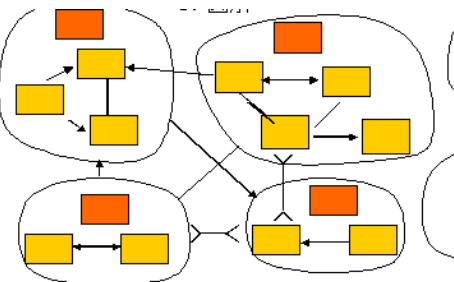
「質より量」：できるだけ多くのアイデアを出す。

【実際にBSしてみよう】


※できたら付箋にも記入しよう

②KJ法をやってみる。

<p>第1ステップ：まず、BSで作られたたくさんの付箋をばらばらに広げてみる。</p>	
---	---

<p>第2ステップ：付箋を眺めながら、関連性のある付箋を重ね、それぞれのグループの内容を簡潔に表す見出し＝「表札」をつけて上に載せていく。</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1グループの付箋は最初は数枚程度。はじめから大きくまとめようとしない。</li> <li>・ 1枚のまま残る付箋があってもかまわない。無理に他のグループと一緒にしない。</li> </ul>	
<p>第3ステップ：段々と大きなグループへとまとめていきながら、関係の近いグループ同士が近くなるように並び変える。</p>	
<p>第4ステップ：グループ間の関連の内容を示す記号を使って、グループごとの関係が分かるようにする。</p> <p>※たとえば次のような記号を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—：関係あり</li> <li>→：原因・結果</li> <li>↔：互いに関係し合っている</li> <li>&gt;—&lt;：互いに反対・対立</li> </ul>	

◆ KJ法でまとめた内容をワークシートにまとめよう

◇ まとめた課題の中で、自分が一番重大な課題だと考えるものは何？その理由とともにまとめよう。

一番重大な課題	
その理由	

## 「共生社会」をめざして

- ◇ 前回まとめた、共生社会実現のために自分が一番重大だと考えた課題を書こう。

--

- ◇ 資料を踏まえて、課題の現状について詳しく調べ、まとめよう。

内容	出典

- ◇ 調べた内容を班で共有しよう。  
・新たな情報は赤色で上の欄に記入すること。

## 「共生社会」をめざして

◇ 課題を解決するための方策を考えよう。

- ・ 課題を解決し、共生社会を実現するためには、 ① 国家（政府） ② 企業（経営者）  
③ 個人 はそれぞれの立場からどのようなことをしていけばよいのだろうか。

【解決策】 ※立場ごとに分類する。

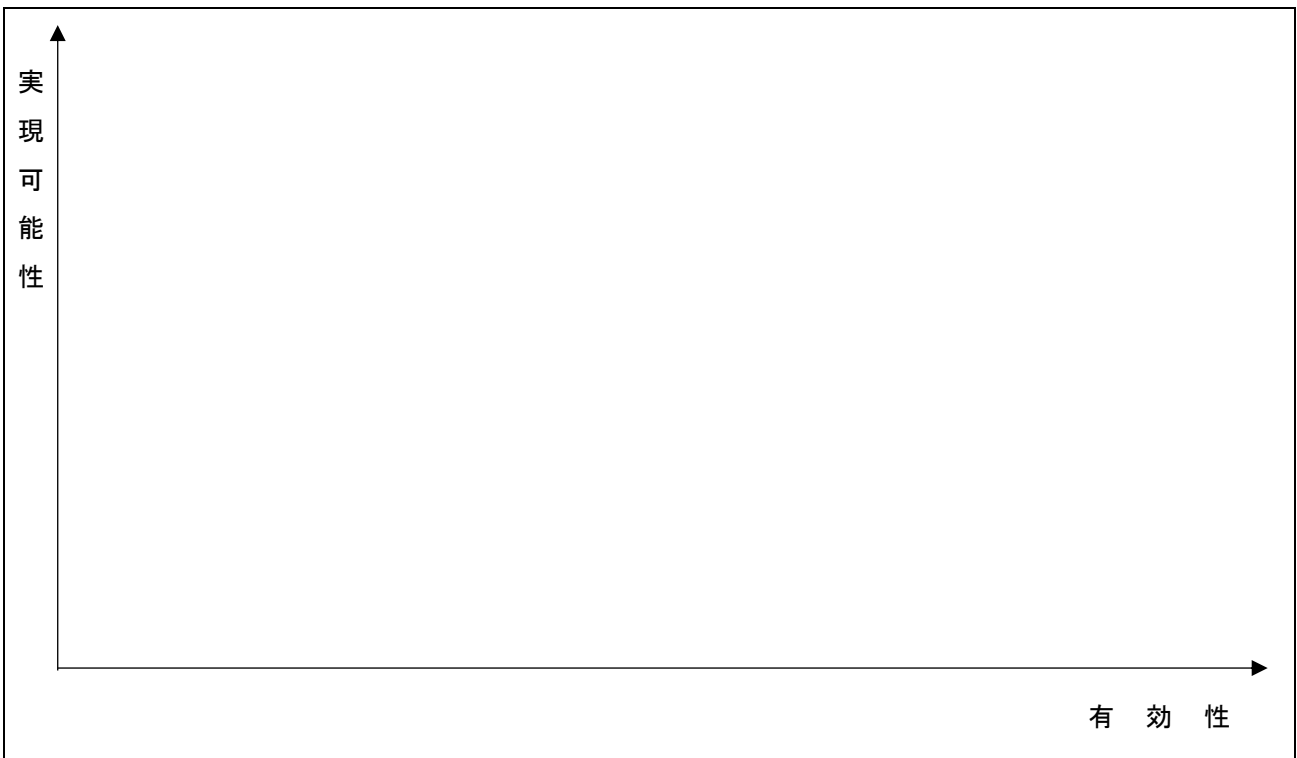
	解決策（見出しを付ける）	内容
国家 （政府）		
企業 （経営者）		
個人		

## 「共生社会」をめざして

### ◇ まとめた解決策を吟味・分析しよう

#### 【吟味・分析の手順】

- ① 解決策のタイトルを付箋に記入する。（国家の立場のものなら黄色，企業の立場のものなら青色，個人の立場のものなら赤色にそれぞれ記入。）
- ② 記入した付箋を縦軸に「実現可能性」，横軸に「有効性」をとったグラフの中に置いていく。（とりあえず，自分が考えた場所におく。）
- ③ 班で話し合いながら付箋を貼る位置を修正していく。



### ◇ 最終的な課題解決のための方策を選択し，まとめよう。

・吟味・分析の結果を踏まえ，班として，最終的に絞った方策を2つまとめましょう。

立場	タイトル	具体的な内容	選択した理由

## 「共生社会」をめざして

◇ ここまでの学習内容をまとめた解決策を吟味・分析しよう 「【プレゼンテーション能力】」

**【プレゼンの手順】**

- ① 発表時間5分。
- ② 共生社会実現のための課題とその解決のための方策を説明する。

◇ 他班の発表の評価をしよう

- ・お互いの発表がよいものになるように建設的な意見を書こう

### プレゼンテーション 相互評価

		評価者	
グループ		発表者	
<b>【評価項目】</b>			
※ 評価基準 4 よくできた 3 できた 2 もう少し 1 努力が必要			
1	課題の現状が論理的に説明されていたか		
2	課題解決のための方策が論理的に説明されていたか		
3	多面的・多角的に考察できていたか		
4	大きな声で分かりやすく表現していたか		
5	聞き手の反応に注意しながら発表できたか		
		合計 (20点満点)	
○ 発表のよかった点, 参考になった点を書いてください。			
○ 発表の改善点や, こうすればよいというアドバイスがあれば書いてください。			

## 「共生社会」をめざして

### ◇ 最終レポートを作成しよう。

・ポスターの評価は以下のルーブリックにより行う。

#### 1. ルーブリック (Rubric) とは

ルーブリック (Rubric) とは、学習結果のパフォーマンスレベル (思考・判断, スキルなど) の目安を数段階に分けて記述して、学習の達成度を判断する基準を示す評価法のことである。

このルーブリックを参考に、自分がどの段階にいるのかを確認しながら、高いレベルを目指してポスター作成を行おう！

#### 2. ポスター作成用ルーブリック 「【メタ認知】」

	A 優秀 (2)	B 普通 (1)	C 努力が必要 (0)	自己評価 (A~C)
タイトル	<input type="checkbox"/> タイトルに、研究の主題や内容を表すキーワードが含まれており、適切な長さで分かりやすい。	<input type="checkbox"/> タイトルに、研究の主題や内容を表すキーワードが含まれている。	<input type="checkbox"/> タイトルに、研究の主題 / 内容を表すキーワードが含まれていない。	
研究意義・目的	<input type="checkbox"/> 研究理由・意義がしっかりと明記されている。	<input type="checkbox"/> 研究理由・意義が述べられている。	<input type="checkbox"/> 研究理由・意義が述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 研究内容が社会的課題の解決につながるものになっている。		<input type="checkbox"/> 研究内容が個人的興味・関心のレベルに留まっている。	
	<input type="checkbox"/> この研究と先行事例とのつながりが明確に示されている。	<input type="checkbox"/> この研究と先行事例とのつながりが示されている。	<input type="checkbox"/> この研究と先行事例とのつながりが示されていない。	
ポスター作成	<input type="checkbox"/> 作成のスケジュールを立て、計画的に作成できた。	<input type="checkbox"/> 作成のスケジュールが立てられた。	<input type="checkbox"/> 作成のスケジュールが立てられていない。期限が守られていない。	
	<input type="checkbox"/> 必要な情報を適切な方法で十分に収集できた。	<input type="checkbox"/> 必要な情報を収集できた。	<input type="checkbox"/> 必要な情報が収集できていない。	
	<input type="checkbox"/> 外部の研究機関との連携, フィールドワークやアンケートの実施など, 文献調査以外の方法も行えた。			
ポスターの内容	<input type="checkbox"/> 項目立てやレイアウトが適切にできている。	<input type="checkbox"/> 項目立てができている。	<input type="checkbox"/> 項目立てがなされていない。	
	<input type="checkbox"/> 図表や配色などが工夫され、研究内容が分かりやすくまとめられている。	<input type="checkbox"/> 図表や配色などが工夫されている。	<input type="checkbox"/> ポスターの内容が分かりにくい。	
	<input type="checkbox"/> それぞれの項目が適切な分量で書かれている。	<input type="checkbox"/> それぞれの項目がだいたい適切な分量で書かれている。	<input type="checkbox"/> 項目の分量が、多すぎる / 少なすぎる	

考察	<input type="checkbox"/> 主張が論理的に示されている。	<input type="checkbox"/> 主張が示されている。	<input type="checkbox"/> 研究結果に基づいた主張が示されていない。	
	<input type="checkbox"/> 多面的・多角的に考察し、それを適切に表すことができている。	<input type="checkbox"/> 複数の視点から考察できている。	<input type="checkbox"/> 一面的な考察しかできていない。	
	<input type="checkbox"/> 問題点の掲載、具体的な改善策などが適切に示せている。	<input type="checkbox"/> 問題点の掲載、具体的な改善策などが示せている。	<input type="checkbox"/> 問題点の掲載 / 具体的な改善策についての表記が不十分である。	
	<input type="checkbox"/> 今後の発展や課題（次に挑むべき問題）が明確に示されている。	<input type="checkbox"/> 今後の発展や課題（次に挑むべき問題）が示されている。	<input type="checkbox"/> 今後の発展や課題（次に挑むべき問題）が示されていない。	
参考文献	<input type="checkbox"/> 図表・グラフの参照が適切に記されている。	<input type="checkbox"/> 図表・グラフの参照が記されている。	<input type="checkbox"/> 図表・グラフが記されていない。	
	<input type="checkbox"/> 参考文献が適切に記されている。	<input type="checkbox"/> 参考文献が記されている。	<input type="checkbox"/> 参考文献が記されていない。	
合計	2点× ( ) = ( )	1点× ( ) = ( )	0点× ( ) = ( 0 )	—

合計点

/32
-----

◇ 学習の振り返り

① ルーブリックを見て、自分の学習上の課題をまとめよう。

--

② 今回の授業の感想をまとめよう。

--

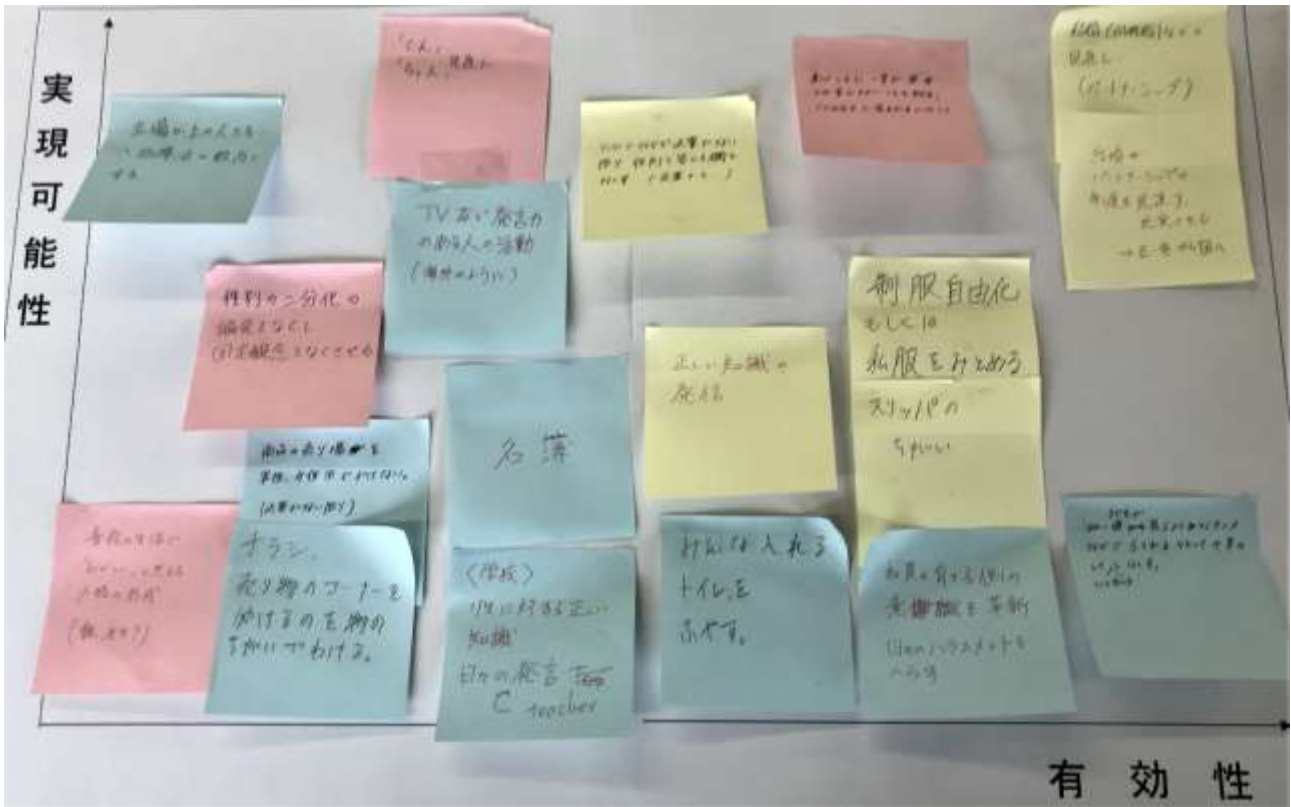




	解決策 (見出しを付ける)	内容
国 (政府)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人研修・技能実習</li> <li>多文化ソリューション・センター 育成・設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本企業に外国人を入る。日本人の研修プログラムを 2週間、事前の研修プログラムの作成、体験型実習 プログラム、ありきたりな日本語を学べる教室を作る。</li> <li>外国人研修の交換プログラムを育成センター、 企業に設置する必要がある。</li> </ul>
企業 (経営者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の多言語化</li> <li>外国人の設置</li> <li>同知の値、理解を 深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を把握している日本人と外国人の間で 問題や誤解を防ぐために、マニュアルや細則などを 多言語化する。社、従業員が理解しやすいように、 わかりやすい形にする。</li> <li>外国人の研修プログラムを企業に導入し、選べる 種類の、調整して、その問題を解決する。</li> <li>「お前が」を作る。互いの文化で価値観を認め 合っていく。</li> </ul>
個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人</li> <li>外国人</li> <li>外国人</li> <li>人間性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の文化、日本人の価値観をどう考えと持たし、 外国人の文化を理解する。押さえる。</li> <li>企業で働く外国人の文化、人柄の良し、 人間性がある人を持つことが重要である。</li> </ul>

ワークシート4

◎「性的少数者の支援策」を研究した班の生徒がまとめたもの



ワークシート6

◎探究活動を終えた生徒授業感想

始めはあまり方向が定まらなかつたが、仮定や目的を全員で何度も確認することで、だんだんとやるべきこと、調べることで明確になり、充実した現状調べができましたと思う。エッセイでまとめたので、今後エッセイに基づいて改善できる課題をいっしょに改善策を提案していきたい。

ゴールを見つけるのが大変だったけど、新しいことを進めていくのがたのしい。



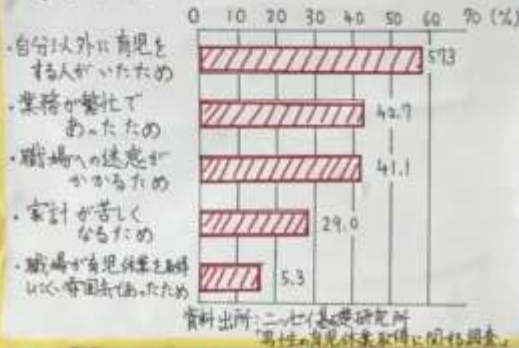
班員名

# いつか当たり前になるのを

＜目的＞ 女性が出産・育児のために社会進出が妨げられている問題を解決する。

＜仮説＞ 男性の育児が行える時間が育休取得や時短勤務などの労働形態の仕組みの発展によって増加すれば女性の社会進出が促進され、男女共同参画社会に近づくことができる。

## 男性が育児休業を取得しなかった理由



## 男性の育休をとられた

〇〇さんへの

インタビューまとめ

きっかけ

→奥さんが体調を崩してしまったり、精神的に落ち込んでしまったり、育休をとってほしいと頼まれたため。

育休中に思ったこと → 子育てと向き合え、子どもがもっと好きになれた。



## 刈谷市の子育て政策

- ① クローバーカード
- ② かりやしファミリーサポートセンター
- ↳ 地域で見守る

## 海外の男性は?

in ノルウェー

「パパ・クォータ制度」  
母親の休暇の一部を父親へ

結果 男性の育休 5% → 90% ↑  
スウェーデンでも 効果あり!!

## 現行イベント

- お父さんと遊ぼうDAY
  - これからの私らしい働き方見つけよう
- 気軽に参加&利用 → 社会セミナー
- 進出へ!

## ＜今後の課題＞

1. ファミリーフレンドリー企業に、今の現状や政策について聞く
2. 企業や自治体でよりよい支援ができればよい案を考える

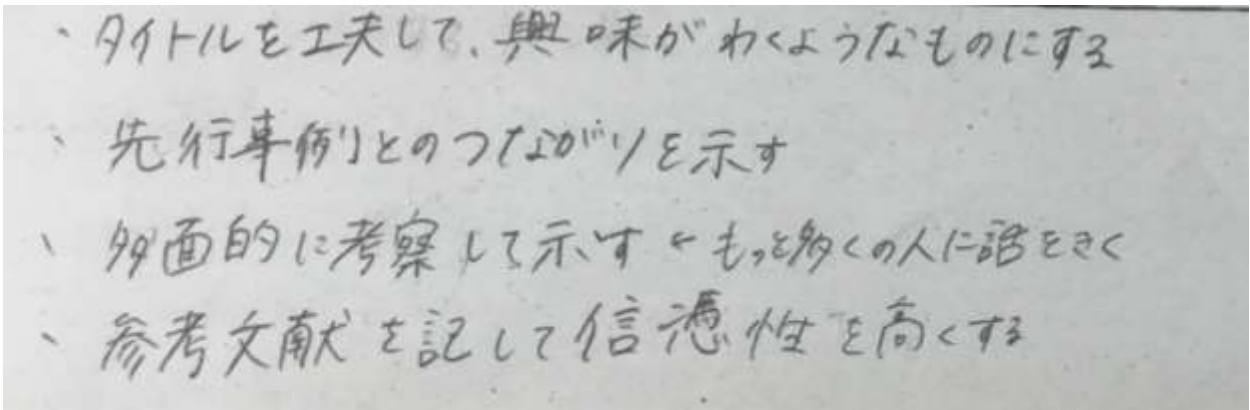
### 3 ルーブリックについて

ルーブリックは、評価の観点とその具体的な規準や尺度を明示した評価規準のことである。ルーブリックを用いることで、考査では評価できないような項目（例：説明力、レポート作成のスキル）なども評価をすることができる。また、生徒の学習到達度に合わせて、評価規準や評価の項目を調整することができるため、授業のねらいに合致した評価規準を設定することができる。

生徒にルーブリックを明示することで、生徒がこれを基にいつでも学習の到達度を確認することができるため、自己評価を行いやすくすることができる。これにより生徒のメタ認知力や自己学習能力を高めることにつながっていくと考えられている。また、高い評価を取るための規準が明示されているため、学習意欲の向上も見込まれる。

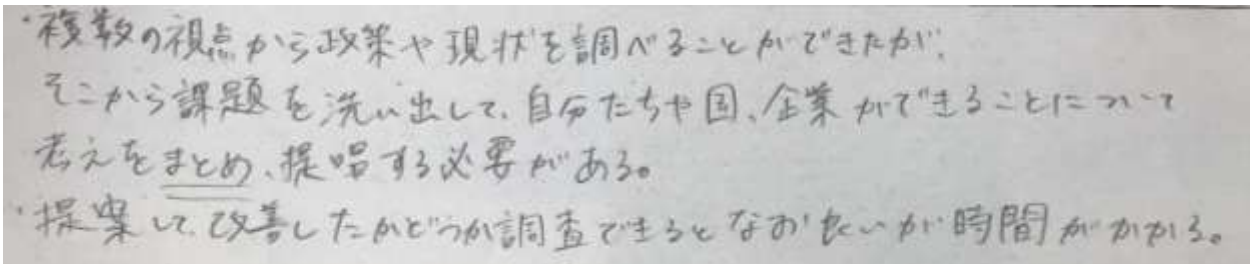
次の記述は、ルーブリックを活用し、生徒が自らの学習上の課題や気づきをまとめたものである。

A



・タイトルを工夫して、興味がわくようなものにする  
・先行事例とのつなごり示す  
・多面的に考察して示す ← もっと多くの人に話せよう  
・参考文献を記して信憑性を高くする

B



・複数の視点から政策や現状を調べることからできたか、  
そこから課題を洗い出して、自分たちや国、企業からできることについて  
考えをまとめ、提唱する必要がある。  
・提案は、改善したかどうかの調査で進める必要はないか、時間がかかる。

これらの記述から、上述したルーブリックの効果は実証されたと考えられる。なお、本実践とは別の機会にルーブリックを用いて研究レポートの作成を行った。以下のルーブリックがその際に用いたものである。

【参考】 探究活動全般及びレポート作成用ルーブリック

	A 優秀 (2)	B 普通 (1)	C 努力が必要 (0)	自己評価 (A～C)
タイトル (4)	<input type="checkbox"/> タイトルに、探究の主題や内容を表すキーワードが含まれており、適切な長さで分かりやすい。	<input type="checkbox"/> タイトルに、探究の主題や内容を表すキーワードが含まれている。	<input type="checkbox"/> タイトルに、探究の主題 / 内容を表すキーワードが含まれていない。	
	<input type="checkbox"/> サブタイトルに、取り組む問題や問題解決の着眼点が述べられており、適切な長さで分かりやすい。	<input type="checkbox"/> サブタイトルに、取り組む問題や問題解決の着眼点が示されている。	<input type="checkbox"/> サブタイトルに、取り組む問題および問題解決の着眼点が示されていない。	
探究意義・目的 (10)	<input type="checkbox"/> 探究理由・意義がしっかりと明記されている。	<input type="checkbox"/> 探究理由・意義が述べられている。	<input type="checkbox"/> 探究理由・意義が述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 探究内容が社会的課題の解決につながるものになっている。		<input type="checkbox"/> 探究内容が個人的興味・関心のレベルに留まっている。	
	<input type="checkbox"/> 探究内容と自己・社会との関係が十分に述べられている。	<input type="checkbox"/> 探究内容と自己・社会との関係が述べられている。	<input type="checkbox"/> 探究内容と自己・社会との関係が述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 先行事例について関連するものも含めて適切に調べられている。	<input type="checkbox"/> 先行事例について調べられている。	<input type="checkbox"/> 先行事例について調べられていない。	
	<input type="checkbox"/> この探究と先行事例とのつながりが明確に述べられている。	<input type="checkbox"/> この探究と先行事例とのつながりが述べられている。	<input type="checkbox"/> この探究と先行事例とのつながりが述べられていない。	
探究方法 (6)	<input type="checkbox"/> 探究のスケジュールを立て、計画的に作成できた。	<input type="checkbox"/> 作成のスケジュールが立てられた。	<input type="checkbox"/> 作成のスケジュールが立てられていない。期限が守られていない。	
	<input type="checkbox"/> 必要な情報を適切な方法で十分に収集できた。	<input type="checkbox"/> 必要な情報を収集できた。	<input type="checkbox"/> 必要な情報が収集できていない。	
	<input type="checkbox"/> 外部の探究機関との連携、フィールドワークの実施、アンケートの実施など、単なる文献調査に留まらない方法で探究をすることができた。			
レポート作成 (10)	<input type="checkbox"/> 適切に文献の引用ができています。	<input type="checkbox"/> おおむね適切に文献の引用ができています。	<input type="checkbox"/> ほとんどがコピー&ペーストになっている / 引用と意見が混在している。	
	<input type="checkbox"/> 項目立てが適切に分かりやすくできている。	<input type="checkbox"/> 項目立てができています。	<input type="checkbox"/> 項目立てがなされていない / 分かりにくい。	
	<input type="checkbox"/> 項目が適切な順番でまとめられている。	<input type="checkbox"/> 項目がおおむね適切な順番でまとめられている。	<input type="checkbox"/> 項目の順番が不適当である。	
	<input type="checkbox"/> 探究内容が分かりやすくまとめられている。	<input type="checkbox"/> 探究内容がおおむね分かりやすくまとめられている。	<input type="checkbox"/> 探究内容のまとめが分かりにくい。	
	<input type="checkbox"/> それぞれの項目が適切な分量で書かれている。	<input type="checkbox"/> それぞれの項目がおおむね適切な分量で書かれている。	<input type="checkbox"/> 一部項目の分量が多すぎる / 少なすぎる	

	A 優秀 (2)	B 普通 (1)	C 努力が必要 (0)	自己評価 (A～C)
考察 (10)	<input type="checkbox"/> 探究結果に基づいた主張が示され、なぜそのような考えになるに至ったのかが論理的に主張されている。	<input type="checkbox"/> 探究結果に基づいた主張が述べられている。	<input type="checkbox"/> 探究結果に基づいた主張が述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 多面的・多角的に考察ができ、それを適切に著すことができている。	<input type="checkbox"/> 複数の視点から考察できている。	<input type="checkbox"/> 一面的な考察しかできていない。	
	<input type="checkbox"/> 既知の内容との相違点・共通点について、適切に述べられている。	<input type="checkbox"/> 既知の内容との相違点・共通点についておおむね述べられている。	<input type="checkbox"/> 既知の内容との相違点・共通点について、述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 問題点や具体的な改善策などが具体的に述べられている。	<input type="checkbox"/> 問題点や具体的な改善策が述べられている。	<input type="checkbox"/> 問題点 / 具体的な改善策について述べられていない。	
	<input type="checkbox"/> 今後の発展や課題 (次に挑むべき問題) が具体的かつ明確に述べられている。	<input type="checkbox"/> 今後の課題 (次に挑むべき問題) が述べられている。	<input type="checkbox"/> 今後の課題 (次に挑むべき問題) が述べられていない。	
まとめと結論 (4)	<input type="checkbox"/> 主題に対する切り口、問題設定とその意義、方法、主要な結果の内容、結論とその意義などを、一通り簡潔にまとめている。	<input type="checkbox"/> 探究のまとめ部分でおおむね探究してきた内容がまとめられている。	<input type="checkbox"/> 探究のまとめ部分で探究してきた内容がまとめができていない。	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ探究の結論が明確かつ適切に述べられている。	<input type="checkbox"/> 取り組んだ探究の結論が述べられている。	<input type="checkbox"/> 取り組んだ探究の結論が述べられていない。	
参考文献 (4)	<input type="checkbox"/> 注釈や図表・グラフの参照が適切な記述方法で記されている。	<input type="checkbox"/> 注釈や図表・グラフが記されている。	<input type="checkbox"/> 注釈や図表・グラフが記されていない。	
	<input type="checkbox"/> 参考文献が適切な記述法で記されている。	<input type="checkbox"/> 参考文献が記されている。	<input type="checkbox"/> 参考文献が記されていない。	
合計	2点× ( ) = ( )	1点× ( ) = ( )	0点× ( ) = ( 0 )	—

合計点

	/48
--	-----

#### 4 参考資料

- ・土持ゲーリー法「ICE ルーブリック - 批判的思考力を伸ばす新たな評価方法」(主体的学び研究所、2014)
- ・ダネル・スティーブンス、アントニア・レビ『大学教員のためのルーブリック評価入門』(玉川大学出版部、2014)
- ・山井敏章「ブレインストーミングとKJ法」(閲覧日 2019 - 12 - 21 <http://www.ritsumei.ac.jp/~yamai/kj.htm>)